



口加だより

平成29年3月24日発行
長崎県立口加高等学校
第12号

あやめが丘の窓から

年々歳々花相似 歳々年々人不同

校長 下釜 祐保



春3月、花便りが届く季節となった。この時季、花といえば桜、それも山桜である。中でも、代表はやっぱりソメイヨシノだ。気象庁は21日、春分の日翌日に、東京で桜（ソメイヨシノ）が開花したと発表した。同庁のソメイヨシノの観測点では、全国で最も早い開花宣言となった。まもなく、ここ九州でもあの日本らしい桜の美しさを満喫できるかと思うと、今から心が弾む。

本校体育館前の花壇には、チューリップが咲き始めている。目にする度に、

♪ アカ、シロ、キイロ。ドノハナ ミテモ キレイダナ…。

をつい口ずさんでしまう。

今月初日に、本校第69回卒業式を行った。卒業生全員に登壇してもらい一人ひとり卒業証書を手渡した。卒業証書を手にする瞬間の表情を見ることができるのは校長の特権だ。一人ひとり表情は違うものの、人生で二度とないこの瞬間を目にできて感動的で、感慨一入であった。それはまさしく「ドノハナ（生徒） ミテモ キレイダナ…」であった。

式では、卒業生を代表して植木比菜さんが「自分が何をなすべきか常に自分に問いかけ、前へ進んでいきます」と力強く宣言し旅立った。そして、16日には合格者発表を行い、新入生も確定した。

また、今日は年度末の人事異動により、本校を支え、口加の若人たちに生きる力を教授した先生方が本校を離任される。「お世話になりました。ありがとうございました。次の任地でも健康で、更なるご活躍を」とお送りしたい。

「年々歳々花相い似たり、歳々年々人同じからず（毎年桜の花は同じように咲くが、来る年ごとに人の顔ぶれは変わる）」である。

1, 2年生も、お世話になった教室と別れ、次のステージへと進む。春休み期間の周到な準備と来たる平成29年度の大きな飛躍を期待し、終業式としたい。



職員ペンリレー 「一人の時間」 佐藤 智子

私は毎日諫早から通勤をしている。時間にすると片道70分。往復で140分の道のりである。運転があまり好きではないため、通勤する時間はあまり楽しい時間ではない。しかし、あるとき「一人だけの時間が2時間もある」と思うようになった。家に帰ると家族がいて、目の前にある家事や仕事に追われ、一人だけの時間はほとんどない。通勤している車の中は、完全に一人だけの時間である。一人だけになると普段じっくり考えることがない身の回りの出来事が頭に浮かぶ。家族のこと、離れて暮らす両親のこと、自分の将来のこと……。じっくり何かを考えるには通勤時間はちょうど良い時間のように思える。高校生の皆さんは、日々の学習や部活動に追われ何かじっくり考える時間を持ってないかもしれない。しかし、10分でもいいから一人じっくり考えてみて欲しい。「自分」について新たな発見をすることができるかもしれません。

離任される先生方



生徒諸君の無限な可能性を信じてことができた1年間でした。これからは、君たちの時代です。自分を信じて突き進んでください。

吉田 繁守 教頭先生→鳴滝高校



高校生、新任教師、そして今回、合計20年間口加高校に通いました。長い間本当にありがとうございました。

久保 惣二郎 先生→長崎北陽台高校



沖縄の嘉手納高校に留学することになりました。2年ほど経ったら、また口加高校に舞い戻ります。

釣船 明文 先生→沖縄県立嘉手納高校



色々な場面で、自分の力で、前に進むもうと頑張っている姿を見ることができてよかったです。

4年間お世話になりました！

松下 恵太 先生→長崎鶴洋高校



「模倣・工夫・挑戦」の5年間でした。多くの師と、多くの純朴な瞳との出会いはかけがえのない財産です。今まで大変お世話になりました。

片山 司朗 先生→平戸高校



充実した1年間でした。口加高校での思い出を忘れず、新しい場所でも頑張ります！
ありがとうございました。

相良 浩子 先生→五島高校



一年間あっという間でしたが、とても充実した毎日を過ごすことができました。
ありがとうございました！

平山 優希 先生→長崎東高校



豊かな自然と、素直で優しい口加高生たちに囲まれて過ごした素晴らしい3年間でした。どうもありがとうございました。

林田 耕 事務長先生→島原特別支援学校



1年間でしたが、楽しく充実した毎日を過ごすことができました。
一期一会！この出会いを大切に、新天地で頑張ります。お世話になりました。

埴生 浩二 先生→瓊浦高校



素直な生徒の皆さんとの授業はとても楽しかったです。また、実習等では地域の方々にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

佐藤 智子 先生→県教育センター



「文武両道」を目指し、生徒・保護者のみなさんと一緒に過ごした7年でした。関わってくださった方々、ありがとうございました！

松永 光司 先生→佐世保中央高校



Time to say goodbye!
7年間の口加生活は、私の人生の宝物です。ここで出会った全ての方々へ。本当にありがとうございました。

吉永 香菜 先生→島原農業高校



いつまでも明るくひたむきな口加生であれ！遠くから応援しています。
2年間でしたがお世話になりました！

林田 直人 先生→対馬高校



転んで泣いても、何かを掴んで、また立ち上がる口加生。沢山の勇気をありがとう。「笑顔・元気・希望」は伝染するものですね。6年間、大変お世話になりました。

濱 公仁子 先生→大村工業高校

生徒育成部より

生徒育成部主任 田中 秀和

今年度を振り返ってみると、落ち着いた様子で生活する生徒が多く、交通安全に対する意識が向上した。また、生徒数が少なくなりつつある中で、皆で協力して学校行事に積極的に参加する姿を見るにつれ、生徒の成長が感じられる1年であった。高校総体や駅伝応援では、全校応援を実施することができた。戦う選手、応援する生徒、両者の懸命な姿に教室では感じることでない一体感を感じることができたのではないかと。他にも、熊本での震災ボランティアをはじめ、多くのボランティア活動に参加することができた。自分たちの今の生活が当たり前なことではなく、普通であることの幸せを感じることができた貴重な経験であったと思う。

心配なことは携帯電話の利用についてである。全国的には利用時間の増加、SNSに関する問題、他人への嫌がらせなど問題は様々であり、今後も保護者の方々と連携しながら本校なりの指導を継続していく必要がある。

他を思いやる気持ちがあれば、いろいろなことが良い方向に向かうように思う。来年度も、思いやりを持った行動を心がけましょう。

進路指導部より

進路指導部主任 片山 司朗

本年度の補習、対外実力テスト・模擬試験、進路講演会や進路説明会などの様々な進路行事が保護者の方々のご理解とご協力によって無事実施できましたことを、心より感謝申し上げます。

さて、本年度の卒業生129名の進路実績（合格者延べ数）は3月21日現在で、次の通りです。

国公立大学 22名 私立大学 66名

医療系専門学校 42名 その他専門学校 23名

短期大学 9名 一般就職・公務員 13名

国公立大について、九州圏内では九州工業大学、佐賀大学、鹿児島大学、琉球大学などに合格。特に地元長崎においては、長崎県立大学に9名（内、推薦6名）が合格を勝ち取ってくれました。私立大学については、立命館大学、西南学院大学、福岡大学などに合格。専門学校については、公立の佐世保市立看護学校など多数の合格を果たしてくれました。医療系の専門学校に進学する生徒は、専門学校全体の65%を占めています。就職については、一般就職2名、公務員4名が合格という結果でした。

希望進路の実現を最後まで目指し続けた生徒たちの頑張りにより中期・後期日程についても延べ2名の合格者が出ました。それぞれの生徒が、新たなステージで新たな挑戦をし、大きく成長していただくと願っております。

最後に、来年度も生徒全員の進路希望を達成できるよう職員一同尽力してまいりますので、どうか今年度同様、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第1学年主任挨拶

第1学年主任 松本 辰哉

正直なところ、ようやく1年間が終わろうとしているというのが本音です。口加高校に赴任してきたばかりで、1学年主任という立場を任せられ、分からないことだらけで1年間をスタートしました。生徒にも保護者の方々にもご迷惑をおかけすることが多々あったと思いますが、他の先生方の助けもあり何とかやってこられたと思います。

今年1年間で生徒達に求めてきたことは、「一生懸命」と「良い反応」でした。そして、学期ごとには「メリハリ」や「我慢する」といったことを要求してきましたが、まだまだ不十分だと感じています。元々、3年間で身に付けて欲しいと考えていることですので、来年も引き続き努力していき、特に部活動を通してこのようなことを学んでいってもらえればと思います。来年は学年が1つ上がり、下級生ができます。1年生が良い意味で真似したくなるような、憧れられるような2年生になってくれればうれしいです。何事も「真ん中」はしんどいです。だからこそ、**過去を振り返らず、先を考えすぎず、今を一生懸命に！**

保護者の方々におかれましては、毎日の弁当や家庭での励ましなど、応援していただきありがとうございました。

第2学年主任挨拶

第2学年主任 松下 恵太

この1年を振り返って、そして、最高学年になるにあたって、特に意識してほしいことが2つあります。1つは「**時間（スケジュール）の管理**」です。進路決定まで残された時間は限られています。ここから先の時間を無駄に過ごすわけにはいきません。具体的な見直しや計画が必要となります。例えば、「1日のスケジュールを見て時間の使い方を間違えていないか、無駄にしていないか確認する。」「春休み期間に苦手科目・分野を克服する、成し遂げたいことについて計画を立てる。」「自分が目指す進路実現に向けて、具体的な計画を立てて実行すべき時に来ている。もう1つは、「**心と視野を広げるよう努めること**」です。自分がどれだけ他者とつながり支えられているかを考えてみてください。今の自分では見えなかったこと、見ようとしなかったことが見えてくるはずですよ。そうすれば自ずと行動が改善され、よりよい人間関係が築かれていきます。この2つを意識しながら、目の前の課題と向き合って、**多くの人とのかかわりを持ち日々成長していきましょう。**

来年度は進路を決定する大事な1年、悩み多き1年になるかと思いますが、お子様が、人としての「**地力**」をつけ、夢や目標に向かって継続して努力できるようサポートしていきたいと思っています。保護者の皆様には、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆今月の生活創造コース☆

3日（金）乳幼児親子交流学習（2年）

年間を通して実施してきた交流学習も今回が最後でした。ご協力いただいた方々、ありがとうございました！

